



THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBE PORT

KOBE PORT

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

神戸ポートワイズメンズクラブ

〒650-0001 神戸市中央区加納町 2-7-15

神戸 YMCA 本部事務局

Tel 078-241-7201

Fax 078-241-7479

E-Mail:houshi@kobeYMCA.org

http://www.kobeYMCA.org/

第1例会 第2木曜日 7:00-9:00P.M.

第2例会 第4木曜日 7:00-9:00P.M.

第 296 号

2012 年 8 月

山田 滋己 神戸ポートクラブ会長『伝統を守りつつ、新しい開かれたクラブへ!』

Philip Mathai 国際会長(IP)(インド) "Be the light OF the world" 「世を照らす光となろう」

Oliver Wu アジア地域会長(AP)(台湾) "Years bring wisdom" 「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」

成瀬 晃三 西日本区理事(RD)(名古屋クラブ) "Let Y'smen Light Shine before Others, In the club, in the community, in the world"

「先頭に立ってワイズの光を輝かそうクラブで、地域で、国際社会で」

上野 恭男六甲部部長(DG) "With the heart filled creative evolution. Let us enjoyY's life, faithfully and constructively!"

「柔軟な創造で愚直に積極的なワイズライフを楽しもう」

8月強調月間(Youth Activities)

将来のYMCAとワイズを担うユースを育てるための活動と支援をしましょう。

下村明子 Yサ・ユース事業主任(名古屋グランパスクラブ)

<8月第1例会>

Youth Activitiesの月を、ユース会員のドライバーで、六甲部部長とキャビネットの公式訪問を迎えます。ポートクラブチャーターメンバー廣島義夫ワイズご夫妻を迎えて、当時のお話を聞きます。

記

日 時：2012年8月9日(木)19:00~21:00

場 所：グリーンヒルホテル神戸

ドライバー：橋崎 頼子ワイズ

開会点鐘：山田 滋己会長

ワイズソング/聖句/祈祷/

部長公式訪問スピーチ：上野 恭男六甲部部長

会食

卓話：廣島 義夫ワイズ「ポートクラブの誕生」

今月の誕生者お祝いおよび諸連絡

今月のうた

閉会点鐘：山田 滋己会長

<7月出席状況> 出席率：100%

(出席総数) 17/17(出席率対象会員数)

出席数：メン 13、メーキャップ 4、功労会員1、メネット 0、ゲスト 0、ビジター 1 計19名

<現在のファンド・累計>

	7月	累計
ニコニコ	2,000円	54,158円
物品販売	11,500円	29,292円

今後の予定

<8月第1例会>

8月9日(木) 19:00~ グリーンヒルホテル神戸

<六甲部 EMC 研修会>

8月14日(火) 18:30~ YMCA サイコー亭

<東京むかでクラブ野尻ファミリーキャンプ>

8月18~20日 東京 YMCA 野尻キャンプ

<8月第2例会>

8月23日(木) 19:00~ YMCA4階

<神戸真生塾納涼大会>

8月25日(土) 17:00~(16時現地集合)

<六甲部部会>

9月8日(土) 13:00~ ホテル竹園芦屋

<8月のお誕生者>

30日 橋崎頼子メン

食事代として各自2,000円ご負担頂きます。正会員の欠席、及びメネット・ゲスト他、出席連絡は、前々日までに坂本連絡主事まで。

《 8月の聖句 》

<「はっきり言うておく。子どものように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。」>
(マルコによる福音書 10:15)

ここで言われる「子どものように」といわれる素直な子どもは今の時代にも多くいるに違いない。一方現在問題になっている「いじめっ子」たちも現在はより陰湿になっているようだが昔から存在する。こうした子どもたちが、アジアやアフリカの貧しいけれどきらきらと輝いた目を持つ子どもになるには、われわれ大人が変わらなければならない。子どもたちに夢と希望を与えなければならない。(Rev. Y)

2012-2013年度クラブ役員

【会長】山田 滋己 【副会長】佐野 睦 【書記】鈴木 誠也 【会計】小田 浩 【監事】山崎 往夫 【連絡主事】坂本 庸秀

会長メッセージ「原点である交流活動について」 山田 滋己

新年度のスタートから早1ヶ月が経ちます。当クラブのキックオフ例会にかけつけて下さった京都部からのワイズ、そして評議会での六甲部のワイズ他、沢山の方々と交流が図れた最初の月でした。交流を原点にしたスタートとしては、まずまずと振返っています。

一方で、自然災害、いじめの問題等々、悲しい話が多かった月でもあります。私の良く知る船舶を例に挙げると、船長をトップに皆が各々の役割を認識し、与えられた持ち場を全うすることで、力を合せて目的地を目指します。皆が一人一人の役割を良く理解して全うして行けば、あるいは自分の役割を客観的に見られるようになれば、いじめも減らせるのではないかと思います。あくまでも私自身の考えですが、自分を客観的に見られるようになるには、目の前の物事だけでなく周りも見渡せるようになること、また全く異なる価値観を受入れることではないかと認識しています。これらのきっかけを得るには、やはり交流が原点になるのではないかと感じています。

さて、ロンドンオリンピックが開幕されました。開幕前からの大きな期待の中、何人かの選手が、大会を楽しみつつ結果を出したい、と言う意味のコメントをしています。重圧のかかる状況において、楽しみつつ物事がこなせることこそが平常心であり、自ずと結果もついてくるように思います。このような観点からも、7月の交流に多くの楽しみを感じられたことが、何よりの良いスタートだったのだと認識しました。

8月はYouth Activityの強化月間です。ユースの方々と交流を模索しながら、新しい交流を図るきっかけの月にしたいと考えます。真夏の太陽に向かうひまわり達の元気のように、年齢を超えた交流で生み出されるエネルギーを皆さんで作って行ければ幸いです。

<7月ドライバー廣瀬献児からの一言>

YMCA活動と、Y'sのサポートのダブルエンジンで、子どもたちやユースがきらきら輝くようにがんばります！！

<7月第1例会報告>

7月12日(木) 19:00～グリーンヒルホテル神戸

出席：メン14、ビジター1、合計15名

ドライバー廣瀬ワイズによる新年度キックオフ例会。ワイズリーダーシップ開発委員で京都パレスクラブの人見 晃弘ワイズがビジター出席。

山田新会長による開会点鐘、聖書朗読・解説と祈祷は山崎ワイズ。新しい会長と役員のために祈られた。89歳の石坂功労会員は開腹手術の為8カ月ぶりの出席、懐かしさと役員への若返りに感動された。



会長就任式を山崎監事司式により厳かに取り行われ、大野直前会長から山田新会長へしっかりとバッジが装着された。又、副会長、書記、会計の役員が紹介され、会長以下役員を全員で支えることを全員拍手で誓った。会長からは、区理事からの委嘱状が、大野勉ワイズには「2000推進チーム委員」、鈴木

木誠也ワイズには「財政監事」「奈良傳賞資格審査委員」が手渡された。

会食後、新会長から、国際、アジア地域、西日本区、六甲部を含めて神戸ポートクラブの主題と方針が熱っぽく語られた。「前期からの流れを受け継いで、YMCA及び地域社会へ開かれたクラブへ進化させる初年度とする。自己研鑽し、魅力あるクラブ、Yサ・ユース事業を強化し、メンバー増強、他クラブとの連携を強化し、平和への取り組みを継続していく。」

各担当役割について抱負を語って貰った。

森Yサ・ユース事業主査：YMCAの若いユースやリーダーたちに「何をしてほしいか？」だけでなく、我々も若い人に参加してもらえることをしたい、と思っている。

山田会長：YMCAユース委員会、YYフォーラム、国際ボランティア等、年に一回は活動を共にしたい。まずは例会に招待して食事を共にすることから始めよう。

鈴木書記：早く廣瀬書記にクラブ幹事としての役割を引き継げるように努力する。

郡地域奉仕委員長：真生塾、じゃがいも、バザー、オリンピック、TOF等自分の役割をやっていくのでご協力をお願いします。

山崎交流委員長：2月台湾訪問時に高雄錫安クラブ閉鎖によるIBC解消を確認し、台南クラブとのIBC可能性を前向きに検討中。

佐野副会長：会長を支えて頑張るが、ブリテンは苦闘中、25周年記念例会実行委員会で対応するが、みなさんの意見が欲しい。

橋本ファンド委員長：大震災に続き九州豪雨支援が始まる。じゃがいも好評により増やしたい、瓦せんべいやカード、焼酎等クラブファンドを増やしたい。持ち寄りオークションも検討する。

大野広報 HP 委員長：クラブ HP にスケジュールをアップした。よく見ておいてください。

小田会計：会計報告と予算承認。11-12年度の決算と12-13年度の予算案を全員の承認を得た。

ほぼ同じ程度の数字で継続、25周年行事と他クラブ訪問についての奨励金と、ユースを例会に招待するように予算化した。クラブファンドのじゃがいもは10%増加を目標とし、更に効率の良いファン物品を工夫することを申し合わせた。最後に山崎監事から適切な会計処理がされている旨、監査報告がなされた。

齋藤ワイズによる今月のうたは「ずいずいずっころばしごまみそずい 茶壺におわれてトッピンシャン ぬけたらドンドコショ 俵のねずみが米くってチュー チューチューチュー」

わらべ歌だが、実は江戸時代の「茶壺道中」の歌と言われる。毎年新茶が出来ると先ずは、京から江戸の将軍に送られる。庶民は茶壺が通り過ぎるのを待つ。邪魔が入れば子どもでも「切り捨て御免」の時代、行列が近づくとき家の戸を閉めて「トッピンシャン」通り過ぎるのを静かに待った。こんな様子を唄ったわらべ歌であることを認識した。

(齋藤記)

<7月第2例会報告>

7月26日(木) 19:00~YMCA 第2会議室

大野、小田、郡、齋藤、坂本、鈴木、民谷、橋崎、廣瀬、細見、山崎、山田 12名出席。

- ① 7月出席率の確認。第1例会欠席の5名中4名は本日第2例会出席、及び水野ワイズは六甲部評議会出席によりメーキャップ出来たので、出席率100%達成で新年度をスタートした。
- ② 第1例会及び六甲部評議会報告あり。ブリテンに記録する。
- ③ 8月特別プログラム参加予定者を確認した。六甲部のクラブはそれぞれに納涼例会を呼び掛けているので、各自参加するように。神戸クラブの14日は六甲部 EMC 研修会としているので EMC 関係者出席を要請する。
- ④ 8月第1例会の進行、及びブリテン内容について

検討した。

- ⑤ 25周年記念例会は2013年5月6日として委員長は佐野副会長、大野、齋藤、鈴木、山田各ワイズによる実行委員会で検討する。
- ⑥ 13-14年度の六甲部会は山田部長の下、クラブがお世話することになるので、部長キャビネットを確定して実行委員会を組織したい。
- ⑦ クラブファンドを確保する為に、じゃがいも以外の販売物品を工夫する。
- ⑧ 九州豪雨災害支援募金が始まったので、クラブとしての取り組みを検討、大野 勉ワイズが熊本、阿蘇キャンプを訪問するので5万円を託し、クラブとしての支援とする。(鈴木記)

<六甲部評議会・納涼会報告>

7月14日(土) 14時~ ブルーミンメドー

故飯田義雄ワイズを覚えて黙祷の後、評議会が開催され、役員紹介と承認、11-12年度部長報告、決算報告を承認、12-13部長活動方針など審議が進み、部長、次期部長、スタッフなどの部から支払う経費の内規が承認された。事業主査、クラブ会長活動方針説明と質疑によって第1部終了。

第2部は「清盛がめざしたもの」と題し、NHK大河ドラマ「平清盛」時代考証の高橋昌明氏によるテレビにでない裏話を含めた講演を聞き、質問が相次いだ。

第3部は「ブルーミンメドー」ならではのガーデンパーティー、鵜丹谷 EMC 主査の司会で楽しく交流、宴たけなわには2階へ戻り、大野勉ワイズと鵜丹谷ワイズによるギターと歌で盛りあがった。神戸ポートからの瓦せんべいは完売、ご協力ありがとうございました。(齋藤記)



<熊本阿蘇へー泥出しボランティア>

7月27日(金)~29日(日)

7月28日(土)午前10時5分熊本阿蘇 YMCA 到着。車で迎えに来てもらって、跡ヶ瀬地区の一軒家に

てボランティア。10時半から12時まで途中休憩を1回入れて、12時まで活動。

兵庫県佐用町からもバス1台でボランティアに来ていた。やはり災害はお互い様ですね。

作業仲間は、吉松さん率いる「でんでん虫の会」から4名。親子3人の家族連れ。単身赴任者1名。県の職員や市の職員森さんは熊本ジェーンズクラブ、熊本YMCAのスタッフ4名、ワイズヤングクラブ亀浦会長(お嬢さん)など、たくさんの参加。阿蘇のスタッフは、郷さん、大久保さん(大久保さんは他地域を回っておられた)。

作業内容は、大きな納屋からの泥出し。近くに流れる黒川(白川ではなく)の水があふれ、家屋は床下浸水。納屋に泥がたまり、応援を求めて来られたとのこと。

12時に作業を終え、一旦阿蘇YMCAに戻り、昼食をとる。この弁当は、東京からの支援金で、ボランティアに弁当を供与することになったとのこと。弁当に加え、すいか、スポーツドリンク等が豊富。急いで昼食を終え、12時45分には車に乗り込み、午後の作業へ出発。同じ場所で、泥出しの後、まだできていない所や、水できれいに洗うところまで作業をしたら、もう午後3時。広い納屋が見違えるようにきれいになった。

その後、阿蘇YMCAへ戻り、風呂に入り、今日の参加者とコミュニケーション。午後5時には、みなさん熊本市内へ戻られました。

今夜の宿泊は、大野ベンと他の地域でボランティアされている方々約10名。阿蘇は、ボランティアセンターとしての役割は本日(28日)で終わります。ボランティアハウスとしての役割は、8月一杯続くとのこと。他地域から来られたボランティアの支援(宿泊、食事)をしているのです。

夕食は午後6時から。沖縄から来た学生と鹿児島は霧島から来られた熊本さんと仲良くなり、遅くまでいろいろ語り合うひとときをもった。

宿泊は201号、oak(なら)の部屋。6人部屋だが、1人で泊まった。

7月29日(日)午前6時起床。7時から朝食。熊本西クラブ亀浦ワイズから「9時に熊本市内下南部の白川河川敷に集合」と連絡が入り、車で市内へ向かう。途中のコンビニで待ち合わせ、亀浦ワイズとともに元九州部長平岡ワイズの自宅&印刷所に到着。床下浸水とのことで、20人近く集まった九州部のワイズ面々とともに、作業を開始。汗びっしょり(本当に滝のように流れる汗)になりながら、

10cm程度たまった粘土質の泥をかき出し、午前中で作業は終了。メネットによるおにぎり、おいしいおかずをいただき、お腹も満足。神戸ポートクラブからの支援金を九州部長代理の吉本会長に手渡し、その日のうちに帰神するため、そそくさとお別れを告げた。



途中、スーパー銭湯に浸かった後、高速に入り一路神戸へ680km。午後10時25分無事帰宅した。(大野記)

神戸YMCA マンスリーレポート

1、この夏の国際交流

去る7月9日(月)から日本語の夏期集中コースに多くの外国からの学生を迎えました。日本語の修得をはじめ、日本文化体験やフィールドワークを進めました。シアトルYMCAからはまた、7月17日(火)から31日(火)まで、ユースグループが来神。同様に神戸からも7月30日(月)から8月10日(金)の予定で、中高生のグループ15名と2名の引率でシアトルでの生活と交流をしています。私も7月26日から神戸市・シアトル市姉妹都市締結55周年の神戸市訪問団の一員としてシアトルを訪問し、シアトル市長公式訪問や交流会をはじめ、シアトルYMCAとの交流の機会を得、31日(火)に帰国しました。

2、九州北部豪雨について

去る7月13日(金)を中心に起こった九州北部地方での豪雨災害について、熊本YMCAの阿蘇キャンプ場をボランティアセンターとして、熊本YMCAが復旧支援の活動を続けています。まだまだ1ヶ月くらいは作業が継続される状況のようです。募金も始まりました。ご支援をよろしくお願いします。

3、東日本大震災支援活動について

福島市の子どもたち30名を招待する三菱商事協賛のダイヤモンドキャンプが7月29日(水)から8月2日(木)まで余島キャンプ場にて。7月23日(月)から26日(木)には、ボランティアバスを出し、啓明学院高校の生徒さん30名、幼稚園の教員、シアトルYMCAの学生らも参加され、合計44名で行き、宮城県石巻市と山元町で活動しました。それぞれに被災地への思いが伝わり、また参加者にとってはより良い体験になりました。(水野雄二)